取引先企業の新入社員対象

東濃信金、マナー指南



お辞儀の練習をする新入社員ら＝多治見市本町、とうしんウェイプラザ

東濃信用金庫（多治見市）は、取引先企業の新入社員らを対象にしたビジネスマナーなどの研修会「新社会人セミナー」を、同市本町のプラティ多治見内とうしんウェイプラザで開いた。

セミナーは、中小企業の支援や地域貢献が狙い。新型コロナウイルスの影響で2020年は中止、その後はオンラインで開いてきたが、今年は5年ぶりに対面形式で企画した。22日までの3回に分けて開き、東濃地域や愛知県などの20社から計67人が参加した。

同金庫営業支援部係長の加賀城成美さんが講師を務め、「ビジネスマナーは最強のビジネススキル。世代が違っていても使えるコミュニケーションツールでもある」と実践を促した。あいさつや敬語、名刺交換の仕方などを解説。参加者は会釈や敬礼など3種類のお辞儀を練習した。金融リテラシーとして、少額投資非課税制度（NISA）、個人型確定拠出年金「iDeCo（イデコ）」の基本も学んだ。（小森直人）

無断複製・転載を禁じます